

2026年度 学校関係者評価委員会 議事録

日産栃木自動車大学校

- ・日時 2026年6月17日(水) 13:30~15:30
- ・場所 日産栃木自動車大学校 会議室
- ・参加委員
 - ② 自治体代表 星野 光弘 上三川町 総務課長
 - ③ 団体代表 青柳 洋平 栃木県自動車整備振興会 教育技術部教育課 部長
 - ④ 卒業生代表 星 章夫 栃木日産自動車販売(株) 取締役 アフターセールスグループ・保険グループ担当
 - ⑤ 企業代表 篠原 伸昌 日産プリンス栃木販売(株) 管理本部 店舗サポート部 課長代理
- ・学校事務局 小林校長、高橋教頭、神林教育部課長、渡辺教育部課長、羽井野学務部部長代理、三浦学務部課長

1. 校長挨拶、メンバー紹介

- ・企業代表の日産プリンス栃木販売(株)様は篠原氏が代理で出席。
- ・学校側事務局は、校長交代(中村→小林)、三浦が課長代理から、課長職として初参加。

2. FY25 活動主要結果報告(小林)

- ・就職率は100%だが、日産販売会社就職率は71.1%で未達成。日産圏就職率も83.1%で未達成。
- ・国家試験合格率は、栃木校(94.9%)、日産校全体でも非常に高い結果を得た。
- ・
- ・学生募集はFY26年4月入学は目標180名に対し207名で大きく過達。
※207名の内64名が日本人、留学生143名。
- ・収支は学園全体では赤字だが、栃木校単体では黒字(日産学園他2校は赤字)。

【質疑応答】

星：日産グループ全体(83.1%)の内訳にサプライヤーは含まれるか。また、他校より栃木校の関連企業希望者が多い理由は何か。

三浦：サプライヤーも含まれる。栃木県内には日産だけでなくホンダやスバルなどの自動車産業が多く、親が関連企業で働いている学生が多いため、地元企業への就職を希望する傾向がある。

3. 2025年度 自己点検評価報告(自己点検内容承認)

- ・向上項目：学生の経済的支援(奨学金推進)、卒業生への離職相談対応、学生募集の早期獲得成功、物価高騰に伴う学納金改定など計10項目で評価を向上。
- ・低下項目：財務情報の公開体制について、学園全体での公開が不十分であると監査法人から指摘を受け、「4」から「3」へ見直し(26年度に改善予定)。

【質疑応答】

星：留学生の早期獲得に成功した具体的な要因は何か。

羽井野：募集活動を早め、6月のAOエントリー開始時点で300名以上の申し込みを得ている。

小林：在校生のネットワークによる口コミ(満足度の高さ)が大きく影響している。

4. 主要テーマ

① 基準 7：学生募集（FY25 振り返りと FY26 方針）

- ・2026 年 4 月入生は 205 名（日本人 64 名、留学生 141 名）。日本人は日産の経営状況やブランドイメージの影響で前年より大幅減となったが、留学生でカバーした。
- ・27 年度に向け、日本人 70 名の確保を目標に、オープンキャンパスのホスピタリティ向上や日本人・留学生の開催日分離による丁寧なフォローを実施中。

【質疑応答】

- 星野： 高校訪問は工業高校のみか。
- 三浦： 栃木県内はほぼ全校（女子校等を除く）を回っている。
- 篠原： 進路ガイダンスはなぜへっているのか？
- 三浦： 進路ガイダンスの減少は少子化や車離れの影響もあると感じる。

② 基準 5：学生就職（FY25 就職状況と FY26 活動）

- ・26 年 3 月卒業生は 100%就職を達成。留学生の増加に伴い、従来の販売会社だけでなく新しい受け入れ先の開拓を推進。
- ・早期からの意識付けのため、販売会社を招いた「オープンスクール」や、全国 55 社が集まる「就職フェア」を開催している。

【質疑応答】

- 篠原： 留学生への住宅手当は企業側の負担が重くなる。手当不要でも栃木で働きたい学生はいるか。
- 三浦： 家族を呼びたい学生には手当が重要だが、親が既に日本にいる場合などは地域優先で選ぶケースもある
- 三浦： 留学生の免許切り替えが厳格化され、教習所の混雑も深刻。入社時に免許が必須か、AT 限定でも可か、企業側にも柔軟な対応を検討してほしい。
- 羽井野： 上三川町では外国人のサポートは行っていないのですか？
- 星野： 町の外国人の人口は増えているが行っていない。

③ 基準 4：修学成果（新 2 級資格への対応）

- ・2026 年度から 2 級国家試験が「2 級総合」に一本化される。問題数が 80 問から 40 問に減るが、範囲は変わらず、1 問の重みが増す。
- ・漢字の難しい専門用語をパターンで覚えている留学生にとって、新形式は混乱を招く恐れがある。早期の特訓開始と、精神的なスタミナを維持するためのメンタルケアを強化する。

5. 第 3 者評価への対応予定

- ・学校教育法改正により、1 級学科（高度専門士）を持つ本校は第 3 者評価が義務化された。今後 5 年以内に受審する必要がある。
- ・自動車整備職種特有の評価機関が未整備などの課題はあるが、4 年以内の実施を目指して準備を進める。本委員会も「自己点検の質保証」として継続していく。

6. 全体を通じて（クロージング）

- ・小林校長より、自治体や販売会社、振興会の協力への感謝と、今後もアドバイスを活かした学校運営を行っていく旨が述べられ、閉会した。